

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F112310102477	設置等組織名	バイオ応用科学部(醸造化学学科・バイオ農芸学科)
大学名	和洋女子大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	千葉	事業計画名	和洋女子大学バイオ応用科学部(醸造化学学科・バイオ農芸学科)（仮称）の設置

1.年度別の計画及び実施状況

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和6年度	1－① 令和6年10月～ 1－② 令和6年10月～ 1－③ 令和6年10月～ CV学部等設置準備事務局の設置（構想・学内調整等） 設置認可申請書類の準備及び作成（構想・学内調整等） バイオ応用科学部設置構想委員会の設置（構想・学内調整等）	1－① 令和6年10月～ 1－② 令和6年10月～ 1－③ 令和6年10月～ 1－④ 令和7年2月～ 1－⑤ 令和7年3月 CV学部等設置準備事務局の設置（構想・学内調整等） 設置認可申請書類の準備及び作成（構想・学内調整等） バイオ応用科学部設置構想委員会の設置（構想・学内調整等） 計画変更申請（R7.2.27承認） 新学部設置に関するデスクリサーチ(文部調査)を実施	令和6年度自己評価	【2】計画を十分には実施していない。 学内構想を固めるためのワーキンググループを設置して、学部の構想を具体化した。また具体化した学部構想に関連し、事前の市場調査を行うことし、デスクリサーチ(文部調査)により、教育分野における学生の需要を調査した。 学内構想について外部有識者からの意見を得る段階までの検討には至っておらず、設置認可申請書類の準備へ向けて、学部学科構想の最終確定にも至っていない。学生が確保できる新設学部を目指し、引き続き根拠等の調査資料を整えていく。 また、新設する学部の定員設定や、施設設備に関する検討について、設置認可申請書類の準備に必要な検討もR7年度以降進めていく。
			令和7年度自己評価	【2】計画を十分には実施していない。 新学部学科構想の具体化が進まず、設置認可申請書類に必要な教員確保、施設設備の調達が令和7年度末までに十分に進んでいない。課題は設置認可申請書類作成体制の整備である。改善のために学内の認可申請体制を再度検討し直し、申請に向けて書類作成を進めていく。
令和7年度	1－④ 令和7年7月～ 設置認可申請書類の準備及び作成（教員確保等）	1－④ 令和7年7月～ 1－④ 令和7年7月～9月 1－④ 令和7年8月～9月 1－④ 令和7年9月 1－④ 令和7年6月、9月 1－④ 令和7年9月～10月 1－④ 令和8年3月 設置認可申請書類の準備及び作成(教員確保等)→ 新学部設置に関する併設校（国府台、九段）保護者向けアンケートの実施 新学部設置に関する高校、予備校へのヒアリング調査実施 新学部用校舎新築の概算及びスケジュールの提示を業者から受ける 新学部構想について、外部有識者からの意見聴取を行う 新学部用校舎新築／既存施設改修の概算及びスケジュールの提示を業者から受ける 大学全体の収容定員の見直しについて学内の検討の結果 「令和8年3月学部、学科定員減に係る届出」は行わないこととした。	令和8年度自己評価	リストから選択してください。
令和8年度			令和9年度自己評価	リストから選択してください。
令和9年度			令和10年度自己評価	リストから選択してください。
令和10年度			令和11年度自己評価	リストから選択してください。
令和11年度			令和12年度自己評価	リストから選択してください。
令和12年度			令和13年度自己評価	リストから選択してください。
令和13年度			令和14年度自己評価	リストから選択してください。
令和14年度			令和15年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請又は届出	令和9年3月 バイオ応用科学部醸造化学学科・バイオ農芸学科の認可申請予定 令和9年3月 収容定員の総数の増加 認可申請予定			
定員減又は学部等の廃止	令和8年3月学部、学科定員減に係る届出予定	令和8年3月学部、学科定員減に係る届出予定		

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	和洋女子大学
-------------	-------	-----	--------

2.申請資格の確認

- i) 学生募集停止中の大学
- ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
- iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
- iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
- v) 大学、短期大学及び高等専門学校等の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	i)	ii)	iii)	iv)	v)
すべての項目に該当していない					

3.申請要件の取組状況

- ① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。□
- ② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。
- ③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。
- ④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。
- ⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。
- ⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。
- ⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。
- ⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。
- ⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。
- ⑨ 事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）
- ⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。
- ⑪ フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。
- ⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。
- ⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。
- ⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、 令和7年度 の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
すべての項目が要件を満たしている														

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

※については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件※について	現在の状況
※文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

- 【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）
- チェック a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- チェック b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
- チェック c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
千葉県の特性を活かして、銚子市にある醤油メーカー数社、酒造会社、千葉県酪農農業協同組合連合会等を通じて乳製品メーカー及び地域大手企業であるパン製造会社との協力関係を築くための協議および連携を図り、研究部門の分担協力、産学官連携などの横断的な研究体制を構築する予定である。 これらの協力関係を基に、グノム情報を自在に扱える現代において、微生物のもつ発酵と醸造の力を遺伝子レベルから掘り起こして、社会の様々な局面で役に立つ技術を開発でき、地元の醸造、発酵技術の伝承と発展に寄与できる日本の女子大学では初の分野で実践的に貢献できる女子学生を養成する計画である。 また、県内外にある大学および千葉県にある大学と連携し、共に「生命化学」「食料」「環境保全」「健康栄養」「バイオエネルギー」「地域貢献」などの分野について協力関係または大学間協定を締結する予定である。	千葉県、市川市の行政に関わった経験を持つ外部有識者2名をアドバイザーとして、検討中の学部学科構想への意見や、地域との連携可能性についてアドバイザーを受けた（2回）。また、大学として地域連携のための協力関係を築く足かりとして、「ちばのキラリ」商品支援事業に参画し、千葉の発酵技術等のセミナーで情報交換を行った（本学教員1名がセミナーに2回参加）。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

- チェック a.入学者選抜における科目の見直し
- チェック b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- チェック c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- チェック d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキングへの対応）
- チェック e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
入学者選抜の見直しでは①学修の計画書で、「生命化学」「食料」「環境保全」「健康栄養」「バイオエネルギー」「地域貢献」などの分野への基礎的な意欲の記述課題②図表等を用いた論述式問題③受験科目に「生物・化学・物理」の基礎的知識を課す予定である。 また、社会人に対しては実際の女性農業従事経験者の社会人特別選抜の導入し、実経験と未経験学生への学生間交流などを通じ、実農業現場での諸課題についての知識の底上げを図り、大学として「生命化学」「食料」「環境保全」「健康栄養」「バイオエネルギー」「地域貢献」などの分野における理解と知識の涵養の支援を積極的に行い、このための学生への指導、支援体制も構築する予定である。	令和7年度の設置認可申請書類の準備作成の段階で具体的な検討を行うとしていたが、新学部学科構想の具体化が進まず、設置申請書類の準備作成が遅れていることから、具体的な進捗はない。	新学部学科構想の具体化を行い、次年度は必要な学生への指導、支援体制の構築を行う。

1.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

大学名	和洋女子大学
-----	--------

(2)

改組内容	学部の新設
学部学科名	バイオ応用科学部バイオ農芸学科（農学関係）

[illegible]

大学名	和洋女子大学
-----	--------

2.理・工・農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

[illegible]

大学名	和洋女子大学
-----	--------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
大区分		小区分	項目	単位																		
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	750	750	750																
		入学者数	人	633	622	768																
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-																
		入学者数	人	-	-	-																
	入学者合計	入学定員(A)	人	750	750	750																
		入学者数(B)	人	633	622	768																
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.84	0.83	1.02																
	収容定員等	収容定員(C)	人	3000	3000	3000																
		編入学定員	人	-	-	-																
		在籍者数(D)	人	2609	2523	2636																
		編入学者数	人	-	-	-																
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.87	0.84	0.88																

4.外部資金の状況（全学）

年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況		申請－5年	申請－4年	申請－3年	申請－2年	申請－1年	申請	選定												
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	97,622	99,501	88,390	66,907	61,301	60,744	42,936	38,198											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 (過去5年間に於ける各年度の外部資金)	千円	84,306
本事業による助成金の額(F)	千円	1,101
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	84,334

特記事項